

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式
信託期間	2017年9月1日から2026年12月7日まで
運用方針	マザーファンドへの投資を通じて、主としてオーストラリアの取引所に上場している高配当株式等に投資することにより、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	当ファンドは以下のマザーファンドを主要投資対象とします。 <b>オーストラリア高配当株式マザーファンド</b> オーストラリアの取引所に上場している高配当株式等
当ファンドの運用方法	■マザーファンドへの投資を通じて、主としてオーストラリアの取引所に上場している高配当株式等に投資することにより、信託財産の中長期的な成長を目指します。 ■銘柄選定にあたっては、企業収益の成長性や財務健全性に加え、配当余力や配当政策等を勘案して厳選します。 ■外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行いません。
組入制限	当ファンド ■株式への実質投資割合には、制限を設けません。 ■外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。 <b>オーストラリア高配当株式マザーファンド</b> ■株式への投資割合には、制限を設けません。 ■外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
分配方針	■年1回（原則として毎年12月5日。休業日の場合は翌営業日）決算を行い、分配金額を決定します。 ■分配対象額は、経費控除後の利子、配当等収益と売買益（評価損益を含みます。）等の範囲内とします。 ■分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。 ※委託会社の判断により分配を行わない場合もあるため、将来の分配金の支払いはおおよそその金額について保証するものではありません。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">複利効果による信託財産の成長を優先するため、分配を極力抑制します。 (基準価額水準、市況動向等によっては変更する場合があります。)</div>

# オーストラリア・高配当株ファンド (年1回決算型) 【運用報告書(全体版)】

(2020年12月8日から2021年12月6日まで)

第 **5** 期

決算日 2021年12月6日

## 受益者の皆さまへ

平素は格別のお引立てに預かり、厚くお礼申し上げます。

当ファンドはマザーファンドへの投資を通じて、主としてオーストラリアの取引所に上場している高配当株式等に投資することにより、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。当期についても、運用方針に沿った運用を行いました。

今後ともご愛顧のほどお願い申し上げます。



〒105-6426 東京都港区虎ノ門1-17-1  
<https://www.smd-am.co.jp>

■口座残高など、お取引状況についてのお問い合わせ

お取引のある販売会社へお問い合わせください。

■当運用報告書についてのお問い合わせ

コールセンター 0120-88-2976

受付時間：午前9時～午後5時(土、日、祝・休日を除く)

## オーストラリア・高配当株ファンド（年1回決算型）

原則として、各表の数量および金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しています。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

### ■ 設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 (分配落)	価 額		株 式 組 入 率 投 証 比	資 信 託 入 率 券 組 入 率	純 資 産 額
		税 分 配 込 金 円	騰 落 中 率 %			
(設 定 日) 2017年 9 月 1 日	円 10,000	円 —	% —	% —	% —	百万円 1
1 期 (2017年12月 5 日)	10,248	0	2.5	61.0	36.8	204
2 期 (2018年12月 5 日)	9,732	0	△ 5.0	64.9	33.9	172
3 期 (2019年12月 5 日)	10,143	0	4.2	51.0	46.9	172
4 期 (2020年12月 7 日)	10,275	0	1.3	58.4	40.0	88
5 期 (2021年12月 6 日)	11,882	0	15.6	66.4	28.8	70

※基準価額の騰落率は分配金込み。

※当ファンドは親投資信託を組み入れますので、比率は実質比率を記載しています。

※株式組入比率には、新株予約権証券を含みます。

※当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

### ■ 当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準	価 額		株 式 組 入 率 投 証 比	資 信 託 入 率 券 組 入 率
		騰 落 率	率		
(期 首) 2020年12月 7 日	円 10,275	% —	% 58.4	% 40.0	
12月末	10,720	4.3	51.2	41.4	
2021年 1 月末	10,621	3.4	55.6	42.4	
2 月末	11,255	9.5	60.8	36.3	
3 月末	11,528	12.2	61.9	35.1	
4 月末	11,946	16.3	62.9	34.3	
5 月末	12,148	18.2	63.9	33.5	
6 月末	12,060	17.4	63.1	34.5	
7 月末	11,848	15.3	64.5	32.9	
8 月末	12,112	17.9	65.4	29.7	
9 月末	12,198	18.7	69.0	26.7	
10月末	13,213	28.6	69.4	27.9	
11月末	12,099	17.8	65.8	29.3	
(期 末) 2021年12月 6 日	11,882	15.6	66.4	28.8	

※騰落率は期首比です。

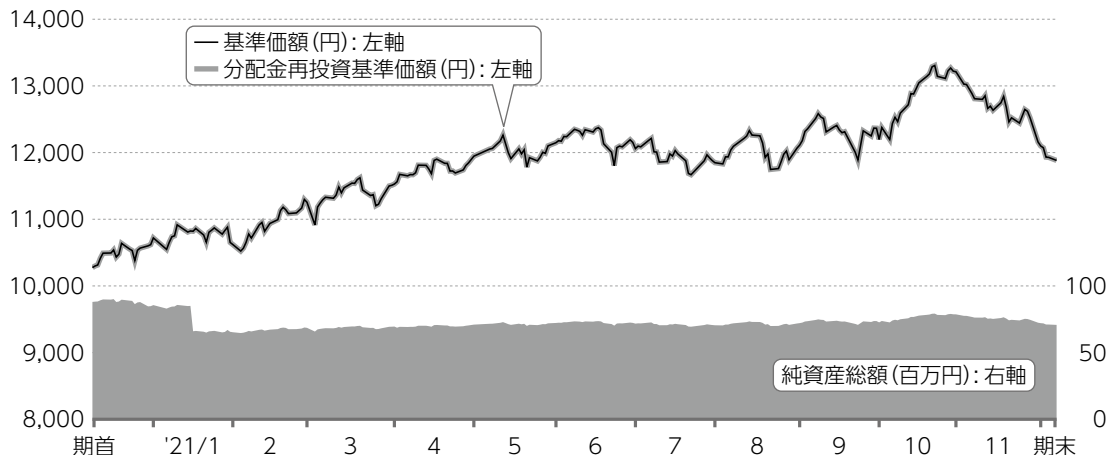
※当ファンドは親投資信託を組み入れますので、比率は実質比率を記載しています。

※株式組入比率には、新株予約権証券を含みます。

# 1 運用経過

基準価額等の推移について（2020年12月8日から2021年12月6日まで）

## 基準価額等の推移



※分配金再投資基準価額は、期首の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

期首	10,275円
期末	11,882円 (既払分配金0円(税引前))
騰落率	+15.6% (分配金再投資ベース)

## 分配金再投資基準価額について

分配金再投資基準価額は分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示します。

※分配金を再投資するかどうかについては、受益者の皆さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額などによって課税条件も異なります。したがって、受益者の皆さまの損益の状況を示すものではありません。(以下、同じ)

※当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

### 基準価額の主な変動要因（2020年12月8日から2021年12月6日まで）

当ファンドは、マザーファンドへの投資を通じて、主としてオーストラリアの取引所に上場している高配当株式等に投資しました。外貨建資産については、対円での為替ヘッジを行っていません。

#### 上昇要因

- 期初から2021年8月中旬にかけて、多くの国・地域において景気回復期待が強まったことで、世界的に株式市場が堅調に推移し、オーストラリア株式市場も上昇したこと
- 期を通じてみれば、オーストラリアドル高・円安となったこと

#### 下落要因

- 8月中旬から期末にかけて、中国の景気鈍化懸念や国内および米国の金融政策の変化に対する警戒感から、株式市場が軟調に推移したこと

投資環境について（2020年12月8日から2021年12月6日まで）

オーストラリア株式市場は、上昇しました。為替相場では、オーストラリアドル高・円安となりました。

### 株式市場

期初から2021年8月中旬にかけて、オーストラリア株式市場は上昇しました。米国において、バイデン大統領の就任により、追加経済対策の期待が強まり、世界的に株式市場は上昇しました。その後は、世界的にワクチン接種が本格化したことや景気回復により商品価格が上昇したことから、銀行や鉱山銘柄などを中心にオーストラリア株式市場は8月中旬に一時最高値を更新しました。

その後は、中国の景気減速懸念による商品市況の悪化や中国の不動産大手の信用不安などが波及し、下落に転じました。期末にかけては、RBA（オーストラリア準備銀行）や米国FRB（米連邦準備制度理事会）の金融緩和策の修正に対する警戒感に加えて、新たに報告された変異ウイルス（オミクロン型）もマイナス材料となりました。

### 為替市場

期初から2021年6月末にかけて、世界的な景気回復期待が強まり米国長期金利が上昇したことを受け、為替市場では米ドル高・円安の動きとなり、オーストラリアドルも対円で上昇しました。

その後は、オーストラリア国内でのウイルス感染再拡大などを受けて、オーストラリアドルは、米ドルや円などの主要通貨に対して弱含みで推移しました。期末のオーストラリアドルは円に対して上昇しました。

ポートフォリオについて（2020年12月8日から2021年12月6日まで）

## 当ファンド

「オーストラリア高配当株式マザーファンド」を通じた運用を行いました。期を通して「オーストラリア高配当株式マザーファンド」の組入れを高位に保ちました。

## オーストラリア高配当株式マザーファンド

### ●株式組入比率

株式組入比率（投資信託証券を含む）は、期を通じて高位を維持しました。

### ●業種配分

業種配分では、不動産価格の上昇により投資口価格が上昇したことからREIT（不動産投資信託）の組入比率を引き下げました。一方、経済活動の再開により業績回復が期

待できる金融、一般消費財・サービスの配分を増やしました。

### ●個別銘柄

個別銘柄では、主要都市のロックダウン（都市封鎖）解除による経済活動再開期待から家電などの小売を展開するJBハイファイ（小売）を追加購入したほか、資源大手のBHPグループのエネルギー事業との統合効果が期待できるウッドサイド・ペトロリアム（エネルギー）を買い入れました。

一方で、買収提案により株価が上昇した電力のスパーク・インフラストラクチャ・グループ（インフラへの投資を専門に行う投資ファンド）、アルミニウムや原料価格の上昇に対して中国政府が対策を講じるとの懸念から、アルミナ（素材）を一部売却しました。

ベンチマークとの差異について（2020年12月8日から2021年12月6日まで）

ベンチマークおよび参考指数を設けていませんので、この項目に記載する事項はありません。

分配金について（2020年12月8日から2021年12月6日まで）

（単位：円、1万口当たり、税引前）

項目	第5期
当期分配金	0
（対基準価額比率）	（0.00%）
当期の収益	-
当期の収益以外	-
翌期繰越分配対象額	2,222

※単位未満を切り捨てているため、「当期の収益」と「当期の収益以外」の合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

※「対基準価額比率」は、「当期分配金」（税引前）の期末基準価額（分配金（税引前）込み）に対する比率で、当ファンドの収益率とは異なります。

期間の分配は、複利効果による信託財産の成長を優先するため、見送りとしたしました。  
 なお、留保益につきましては、運用の基本方針に基づき運用いたします。

## 2 今後の運用方針

### 当ファンド

「オーストラリア高配当株式マザーファンド」を通じた運用を継続します。「オーストラリア高配当株式マザーファンド」の組入比率は高位に保つ予定です。

### オーストラリア高配当株式マザーファンド

変異ウイルス感染拡大の影響について過度な楽観は禁物ですが、既存ワクチンの改良と追加接種、経口治療薬の普及などにも期待が出来るため、経済や企業業績の回復シナリオが大きく損なわれる可能性は限定のと判断します。オーストラリアの主要企

業の業績は、経済活動再開による回復途上にあります。今後半年から1年といった時間軸では、企業業績の増益に沿った株価の上昇を予想します。

オーストラリア株式市場は堅調な見通しであることから、株式の組入比率は高位を維持します。個別銘柄選択については、安定した事業からのキャッシュフローを見極めるとともに、増配や自社株買いなどの株主還元に注力する銘柄を選別します。

## 3 お知らせ

### 約款変更について

該当事項はございません。



## オーストラリア・高配当株ファンド（年1回決算型）

### 1万口当たりの費用明細（2020年12月8日から2021年12月6日まで）

項 目	金額	比率	項目の概要
<b>(a) 信 託 報 酬</b>	<b>188円</b>	<b>1.591%</b>	<b>信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率×(経過日数／年日数)</b> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">期中の平均基準価額は11,820円です。</span>
（投 信 会 社）	(91)	(0.768)	投信会社:ファンド運用の指図等の対価
（販 売 会 社）	(91)	(0.768)	販売会社:交付運用報告書等各種資料の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受 託 会 社）	(6)	(0.055)	受託会社:ファンド財産の保管および管理、投信会社からの指図の実行等の対価
<b>(b) 売買委託手数料</b>	<b>27</b>	<b>0.225</b>	<b>売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数</b> 売買委託手数料:有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（株 式）	(16)	(0.139)	
（先物・オプション）	(－)	(－)	
（投資信託証券）	(10)	(0.086)	
<b>(c) 有価証券取引税</b>	<b>－</b>	<b>－</b>	<b>有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数</b> 有価証券取引税:有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（株 式）	(－)	(－)	
（公 社 債）	(－)	(－)	
（投資信託証券）	(－)	(－)	
<b>(d) そ の 他 費 用</b>	<b>6</b>	<b>0.053</b>	<b>その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数</b> 保管費用:海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送付金・資産の移転等に要する費用 監査費用:監査法人に支払うファンドの監査費用 そ の 他:信託事務の処理等に要するその他費用
（保 管 費 用）	(5)	(0.046)	
（監 査 費 用）	(1)	(0.006)	
（そ の 他）	(0)	(0.000)	
<b>合 計</b>	<b>221</b>	<b>1.868</b>	

※期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。

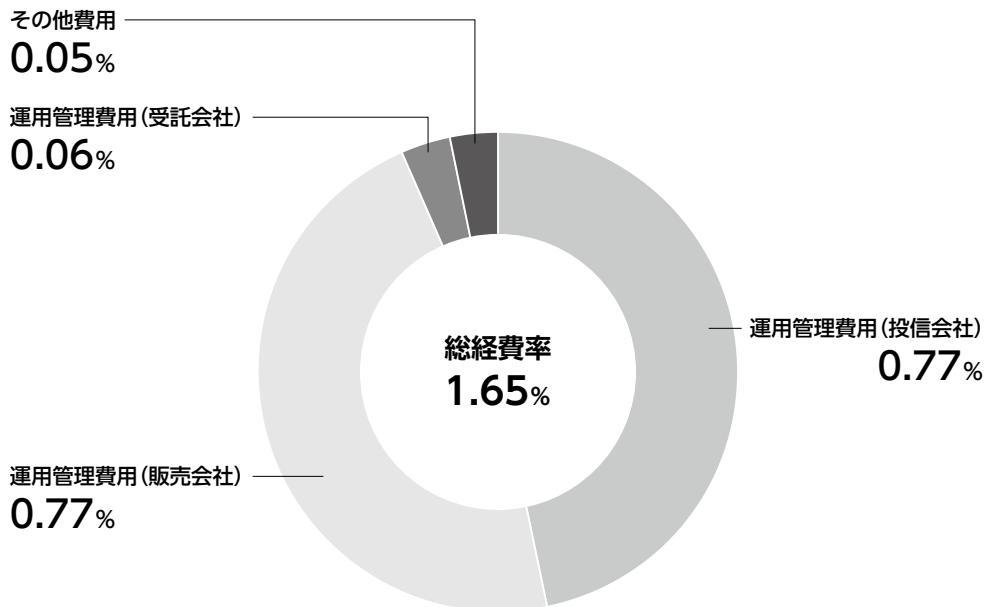
※比率欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

※各項目毎に円未満は四捨五入しています。

※売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。



## 参考情報 総経費率(年率換算)



※各費用は、前掲「1万口当たりの費用明細」において用いた簡便法により算出したもので、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

※各比率は、年率換算した値(小数点以下第2位未満を四捨五入)です。

※上記の前提条件で算出しているため、「1万口当たりの費用明細」の各比率とは、値が異なる場合があります。なお、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

当期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。)を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した総経費率(年率換算)は1.65%です。

■ 当期中の売買及び取引の状況（2020年12月8日から2021年12月6日まで）

親投資信託受益証券の設定、解約状況

	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
オーストラリア高配当株式マザーファンド	千口 621	千円 1,558	千口 12,688	千円 30,938

■ 親投資信託の株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

（2020年12月8日から2021年12月6日まで）

項 目	当 期
	オーストラリア高配当株式マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	2,148,936千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	1,947,947千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	1.10

※(b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

※外貨建資産については、(a)は各月末（ただし、決算日の属する月については決算日）の日本の対顧客電信売買相場の仲値で換算した邦貨金額の合計、(b)は各月末の同仲値で換算した邦貨金額合計の平均です。

■ 利害関係人との取引状況等（2020年12月8日から2021年12月6日まで）

当期中における利害関係人との取引等はありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## オーストラリア・高配当株ファンド（年1回決算型）

### ■ 第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況 (2020年12月8日から2021年12月6日まで)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

### ■ 組入れ資産の明細 (2021年12月6日現在)

親投資信託残高

種 類	期 首(前期末)		期 末	
	口 数	口 数	評 価	額
オーストラリア高配当株式マザーファンド	千口 38,320	千口 26,253	千円 71,368	千円 71,368

※オーストラリア高配当株式マザーファンドの期末の受益権総口数は1,006,208,888口です。

### ■ 投資信託財産の構成

(2021年12月6日現在)

項 目	期 末	
	評 価 額	比 率
オーストラリア高配当株式マザーファンド	千円 71,368	% 100.0
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	—	0.0
投 資 信 託 財 産 総 額	71,368	100.0

※オーストラリア高配当株式マザーファンドにおいて、期末における外貨建資産（2,643,549千円）の投資信託財産総額（2,738,523千円）に対する比率は96.5%です。

※外貨建資産は、期末の時価を日本の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは、1オーストラリア・ドル=79.37円です。

## オーストラリア・高配当株ファンド（年1回決算型）

### ■ 資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2021年12月6日現在)

項 目	期 末
(A) 資 産	71,368,213円
オーストラリア高配当株式 マザーファンド(評価額)	71,368,213
(B) 負 債	585,803
未払信託報酬	583,452
その他未払費用	2,351
(C) 純資産総額(A-B)	70,782,410
元 本	59,571,009
次期繰越損益金	11,211,401
(D) 受益権総口数	59,571,009口
1万口当たり基準価額(C/D)	11,882円

※当期における期首元本額85,657,779円、期中追加設定元本額1,525,031円、期中一部解約元本額27,611,801円です。

※上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額（元本の欠損）となります。

※上記表中の受益権総口数および1万口当たり基準価額が、投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第7号および第11号に規定する受益権の総数および計算口数当たりの純資産の額となります。

### ■ 損益の状況

(自2020年12月8日 至2021年12月6日)

項 目	当 期
(A) 有価証券売買損益	10,580,468円
売 買 益	11,945,068
売 買 損	△ 1,364,600
(B) 信託報酬等	△ 1,167,071
(C) 当期損益金(A+B)	9,413,397
(D) 前期繰越損益金	1,846,301
(E) 追加信託差損益金	△ 48,297
(配当等相当額)	( 1,978,521)
(売買損益相当額)	(△ 2,026,818)
(F) 合計(C+D+E)	11,211,401
次期繰越損益金(F)	11,211,401
追加信託差損益金	△ 48,297
(配当等相当額)	( 1,979,896)
(売買損益相当額)	(△ 2,028,193)
分配準備積立金	11,259,698

※有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

※株式投信の信託報酬等には消費税等相当額が含まれており、公社債投信には内訳の一部に消費税等相当額が含まれています。

※追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

※分配金の計算過程は以下の通りです。

	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	3,380,809円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	2,844,151
(c) 収益調整金	1,979,896
(d) 分配準備積立金	5,034,738
(e) 当期分配対象額(a+b+c+d)	13,239,594
1万口当たり当期分配対象額	2,222.49
(f) 分配金	0
1万口当たり分配金	0

### ■ 分配金のお知らせ

1万口当たり分配金（税引前）	当 期
	0円

上記のほか、投資信託財産の計算に関する規則第58条第1項各号に該当する事項はありません。

# オーストラリア高配当株式マザーファンド

第19期（2021年6月8日から2021年12月6日まで）

信託期間	無期限（設定日：2012年6月15日）
運用方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>主としてオーストラリアの取引所に上場している高配当株式等に投資することにより、信託財産の中長期的な成長を目指します。</li> <li>外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行いません。</li> </ul>

原則として、各表の数量および金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しています。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

## ■ 最近5期の運用実績

決 算 期	基 準	価 額		株 式 組 入 率	投 資 信 託 証 券 組 入 比 率	純 資 産 額
		騰 落	率			
15期（2019年12月5日）	円		%	%	%	百万円 5,159
16期（2020年6月5日）		22,544	2.4	50.7	46.6	
17期（2020年12月7日）		20,266	△10.1	53.3	43.0	4,415
18期（2021年6月7日）		23,159	14.3	57.9	39.6	4,342
19期（2021年6月7日）		28,021	21.0	63.8	33.4	3,244
19期（2021年12月6日）		27,184	△3.0	65.8	28.6	2,735

※株式組入比率には、新株予約権証券を含みます。

※当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

## ■ 当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準	価 額		株 式 組 入 率	投 資 信 託 証 券 組 入 比 率
		騰 落	率		
(期 首) 2021年6月7日	円		%	%	%
6月末		28,021	—	63.8	33.4
7月末		27,393	△2.2	63.1	34.4
8月末		26,948	△3.8	64.4	32.8
9月末		27,585	△1.6	65.1	29.6
10月末		27,817	△0.7	68.7	26.5
11月末		30,156	7.6	69.0	27.7
11月末		27,670	△1.3	65.3	29.1
(期 末) 2021年12月6日		27,184	△3.0	65.8	28.6

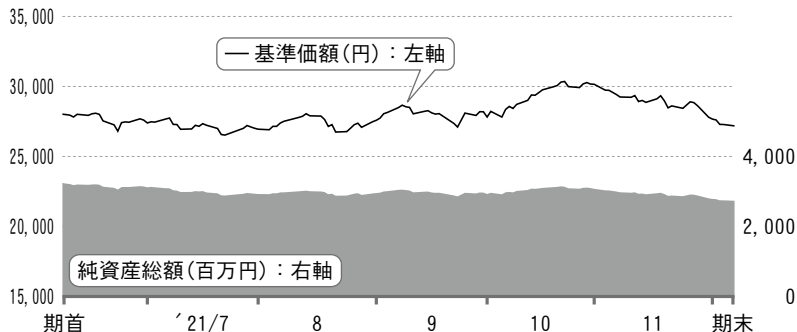
※騰落率は期首比です。

※株式組入比率には、新株予約権証券を含みます。

## 1 運用経過

### ▶ 基準価額等の推移について（2021年6月8日から2021年12月6日まで）

#### 基準価額等の推移



期首	28,021円
期末	27,184円
騰落率	-3.0%

### ▶ 基準価額の主な変動要因（2021年6月8日から2021年12月6日まで）

当ファンドは、主としてオーストラリアの取引所に上場している高配当株式等に投資しました。外貨建資産については、対円での為替ヘッジを行っていません。

#### 上昇要因

- ・ 期初から8月中旬にかけて、企業業績見通しの改善などで株式市場が上昇したこと

#### 下落要因

- ・ 8月中旬から期末にかけて、中国の景気鈍化懸念や国内および米国の金融政策の変化に対する警戒感から、株式市場が軟調に推移したこと
- ・ オーストラリアドルが円に対して下落したこと

### ▶ 投資環境について（2021年6月8日から2021年12月6日まで）

オーストラリア株式市場は、小幅な下落でした。為替市場では、オーストラリアドル安・円高となりました。

#### 株式市場

オーストラリア株式市場は小幅な下落でした。期初は資源関連企業の業績見通しの改善などを受けて、株式市場は堅調に推移し、8月中旬に

## オーストラリア高配当株式マザーファンド

代表的な指数は最高値を更新しました。その後は、中国の景気減速懸念による商品市況の悪化や中国の不動産大手の信用不安などが波及し、下落に転じました。オーストラリア国内での新型コロナウイルスの感染再拡大もマイナス材料となりました。

10月にワクチン接種の進捗に伴う国内経済活動の再開を好感する局面もありましたが、RBA（オーストラリア準備銀行）が金融緩和策の修正に動くとの見方が台頭し債券利回りが上昇すると、売りが優勢となりました。期末にかけては、米国のテーパリング（量的緩和の段階的縮小）に対する警戒感に加えて、新たに報告された変異ウイルス（オミクロン型）を嫌気して下落しました。

### 為替市場

オーストラリアドルは、円に対して下落しました。オーストラリア国内でのウイルス感染再拡大などを受けて、オーストラリアドルは、米ドルや円などの主要通貨に対して弱含みで推移しました。RBAの金融緩和策の修正観測からオーストラリアドルは10月に債券利回りの上昇とともに米ドルや円に対して上昇する局面もありましたが、米国がテーパリングを決定した期末にかけて反落しました。

---

### ▶ ポートフォリオについて（2021年6月8日から2021年12月6日まで）

---

### 株式組入比率

株式組入比率（投資信託証券を含む）は、期を通じて高位を維持しました。

### 業種配分

業種配分では経済活動の再開により業績回復が期待できる一般消費財・サービスやエネルギーの配分を増やしました。

### 個別銘柄

個別銘柄では、主要都市のロックダウン（都市封鎖）解除による経済活動再開期待から家電などの小売を展開するJBハイファイ（小売）を追加購入したほか、資源大手のBHPグループのエネルギー事業との統合効果が期待できるウッドサイド・ペトロリアム（エネルギー）を買いました。また、世界的な需要拡大見通しを背景に、飲食品向けのパッケージの製造・販売を手掛けるアムコー（素材）を買増しました。

一方で、買収提案により株価が上昇した電力のスパーク・インフラストラクチャ・グループ（インフラへの投資を専門に行う投資ファンド）、アルミニウムや原料価格の上昇に対して中国政府が対策を講じるとの懸念から、アルミナ（素材）を一部売却しました。

---

### ▶ ベンチマークとの差異について（2021年6月8日から2021年12月6日まで）

---

ベンチマークおよび参考指数を設けていませんので、この項目に記載する事項はありません。



## 2 今後の運用方針

変異ウイルス感染拡大の影響について過度な楽観は禁物ですが、既存ワクチンの改良と追加接種、経口治療薬の普及などにも期待が出来るため、経済や企業業績の回復シナリオが大きく損なわれる可能性は限定的と判断します。オーストラリアの主要企業の業績は、経済活動再開による回復途上にあります。今後半年から1年といった時間軸では、企業業績の増益に沿った株価の上昇を予想します。

オーストラリア株式市場は堅調な見通しであることから、株式の組入比率は高位を維持します。個別銘柄選択については、安定した事業からのキャッシュフローを見極めるとともに、増配や自社株買いなどの株主還元に注力する銘柄を選別します。

### ■ 1万口当たりの費用明細 (2021年6月8日から2021年12月6日まで)

項 目	金 額	比 率	項 目 の 概 要
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式) (投 資 信 託 証 券)	31円 (18) (13)	0.112% (0.064) (0.048)	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数 売買委託手数料：有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (そ の 他)	6 (6) (0)	0.021 (0.021) (0.000)	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数 保管費用：海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送付金・資産の移転等に要する費用 そ の 他：信託事務の処理等に要するその他費用
合 計	37	0.133	

期中の平均基準価額は28,102円です。

※期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。

※比率欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

※各項目毎に円未満は四捨五入しています。

## オーストラリア高配当株式マザーファンド

### ■ 当期中の売買及び取引の状況 (2021年6月8日から2021年12月6日まで)

#### (1) 株 式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
外国	オーストラリア	百株 1,760	千オーストラリア・ドル 4,389	百株 11,390	千オーストラリア・ドル 5,229

※金額は受渡し代金。

※管理上の都合により、一部の銘柄において属性が変わっている場合があります。

#### (2) 投資信託証券

			買 付		売 付	
			口 数	買 付 額	口 数	売 付 額
外国	オーストラリア	SCENTRE GROUP	口 300,000	千オーストラリア・ドル 833	口 -	千オーストラリア・ドル -
		GROWTHPOINT PROPERTIES AUSTR	-	-	140,000	545
		NATIONAL STORAGE REIT	-	-	150,000	301
		CHARTER HALL SOCIAL INFRASTR	-	-	80,000	284
		RURAL FUNDS GROUP	-	-	150,000	404
		CHARTER HALL LONG WALE REIT	-	-	100,000	518
		ALE PROPERTY GROUP	-	-	250,000	1,336
		HOMECO DAILY NEEDS REIT	400,000	628	-	-
		SPARK INFRASTRUCTURE GROUP	-	-	800,000	2,250

※金額は受渡し代金。

※銘柄コードの変更等、管理上の都合により同一銘柄であっても別銘柄として記載されている場合があります。

※管理上の都合により、一部の銘柄において属性が変わっている場合があります。

### ■ 株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

(2021年6月8日から2021年12月6日まで)

項 目	当 期
(a) 期中の株式売買金額	783,455千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	1,954,739千円
(c) 売買高比率(a)/(b)	0.40

※(b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

※外貨建資産については、(a)は各月末(ただし、決算日の属する月については決算日)の日本の対顧客電信売買相場の仲値で換算した邦貨金額の合計、(b)は各月末の同仲値で換算した邦貨金額合計の平均です。

## オーストラリア高配当株式マザーファンド

### ■ 利害関係人との取引状況等 (2021年6月8日から2021年12月6日まで)

当期中における利害関係人との取引等はありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

### ■ 第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況 (2021年6月8日から2021年12月6日まで)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

### ■ 組入れ資産の明細 (2021年12月6日現在)

#### (1) 外国株式

銘	柄	期首(前期末)		期		業	種	等		
		株	数	株	数				評 価 額	
									外貨建金額	邦貨換算金額
(オーストラリア)		百株	百株	千オーストラリア・ドル	千円					
	AURIZON HOLDINGS LTD	1,600	—	—	—	運輸				
	MAGELLAN FINANCIAL GROUP LTD	200	—	—	—	各種金融				
	BHP GROUP LTD	300	600	2,413	191,583	素材				
	ALUMINA LTD	16,000	7,000	1,284	101,950	素材				
	WOODSIDE PETROLEUM LTD	—	500	1,067	84,687	エネルギー				
	COLES GROUP LTD	200	—	—	—	食品・生活必需品小売り				
	NATIONAL AUSTRALIA BANK LTD	314.4	634.4	1,773	140,785	銀行				
	WESTPAC BANKING CORP	1,100	900	1,863	147,866	銀行				
	AUST AND NZ BANKING GROUP	1,100	1,000	2,703	214,537	銀行				
	RIO TINTO LTD	110	90	859	68,232	素材				
	AMCOR PLC-CDI	700	900	1,453	115,364	素材				
	COMMONWEALTH BANK OF AUSTRAL	300	230	2,222	176,362	銀行				
	TELSTRA CORP LTD	5,000	5,000	2,010	159,533	電気通信サービス				
	MACQUARIE GROUP LTD	50	50	998	79,250	各種金融				
	SUNCORP GROUP LTD	1,939.1	2,239.1	2,422	192,290	保険				
	JB HI-FI LTD	200	340	1,613	128,101	小売				
小	計	株数・金額	29,113.5	19,483.5	22,685	1,800,546				
	銘柄数<比率>	15銘柄	13銘柄	—	<65.8%>					
合	計	株数・金額	29,113.5	19,483.5	—	1,800,546				
	銘柄数<比率>	15銘柄	13銘柄	—	<65.8%>					

※邦貨換算金額は、期末の時価を日本の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

※<>内は、純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。

※銘柄コードの変更等、管理上の都合により同一銘柄であっても別銘柄として記載されている場合があります。

※管理上の都合により、一部の銘柄において属性が変わっている場合があります。

## オーストラリア高配当株式マザーファンド

### (2) 外国投資信託証券

銘 柄	期首(前期末)		期 末		
	口 数	口 数	評 価 額		組 入 比 率
			外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額	
(オーストラリア)	口	口	千オーストラリア・ドル	千円	%
SCENTRE GROUP	—	300,000	900	71,433	2.6
GROWTHPOINT PROPERTIES AUSTR	277,418	137,418	555	44,063	1.6
NATIONAL STORAGE REIT	350,000	200,000	488	38,732	1.4
CHARTER HALL SOCIAL INFRASTR	380,000	300,000	1,137	90,243	3.3
RURAL FUNDS GROUP	956,665	806,665	2,339	185,672	6.8
CHARTER HALL LONG WALE REIT	220,000	120,000	580	46,098	1.7
ALE PROPERTY GROUP	250,000	—	—	—	—
HOMECO DAILY NEEDS REIT	—	400,000	544	43,177	1.6
DEXUS/AU	60,000	60,000	651	51,717	1.9
APA GROUP	170,000	170,000	1,603	127,238	4.7
SPARK INFRASTRUCTURE GROUP	800,000	—	—	—	—
CHARTER HALL RETAIL REIT	100,000	100,000	411	32,621	1.2
STOCKLAND	150,000	150,000	642	50,955	1.9
小 計	口 数 ・ 金 額 銘 柄 数 <比 率>	3,714,083 11銘柄	2,744,083 11銘柄	9,851 <28.6%>	28.6
合 計	口 数 ・ 金 額 銘 柄 数 <比 率>	3,714,083 11銘柄	2,744,083 11銘柄	— <28.6%>	28.6

※邦貨換算金額は、期末の時価を日本の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

※<>内は、純資産総額に対する評価額の比率。

※銘柄コードの変更等、管理上の都合により同一銘柄であっても別銘柄として記載されている場合があります。

※管理上の都合により、一部の銘柄において属性が変わっている場合があります。

### ■ 投資信託財産の構成

(2021年12月6日現在)

項 目	期 末	
	評 価 額	比 率
株 式	千円	%
投 資 証 券	1,800,546	65.7
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	781,953	28.6
投 資 信 託 財 産 総 額	156,024	5.7
	2,738,523	100.0

※期末における外貨建資産(2,643,549千円)の投資信託財産総額(2,738,523千円)に対する比率は96.5%です。

※外貨建資産は、期末の時価を日本の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは、1オーストラリア・ドル=79.37円です。

# オーストラリア高配当株式マザーファンド

## ■ 資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2021年12月6日現在)

項 目	期 末
(A) 資 産	2,738,523,749円
コール・ローン等 株 式(評価額)	140,112,688
投 資 証 券(評価額)	1,800,546,436
未 収 配 当 金	781,953,019
(B) 負 債	15,911,606
未 払 解 約 金	3,243,624
そ の 他 未 払 費 用	3,241,046
(C) 純 資 産 総 額(A - B)	2,735,280,125
元 本	1,006,208,888
次 期 繰 越 損 益 金	1,729,071,237
(D) 受 益 権 総 口 数	1,006,208,888口
1万口当たり基準価額(C/D)	27,184円

※当期における期首元本額1,157,871,341円、期中追加設定元本額35,552,158円、期中一部解約元本額187,214,611円です。

※上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額(元本の欠損)となります。

※期末における元本の内訳は以下の通りです。

オーストラリア・高配当株ファンド(毎月決算型)	787,728,267円
オーストラリア・高配当株ファンド(年1回決算型)	26,253,757円
SMAM・オーストラリア高配当株ファンド(適格機関投資家専用)	192,226,864円

※上記表中の受益権総口数および1万口当たり基準価額が、投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第7号および第11号に規定する受益権の総数および計算口数当たりの純資産の額となります。

## ■ お知らせ

<約款変更について>

該当事項はございません。

## ■ 損益の状況

(自2021年6月8日 至2021年12月6日)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	78,021,844円
受 取 配 当 金	78,042,477
受 取 利 息	269
支 払 利 息	△ 20,902
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△ 159,664,027
売 買 益	183,502,299
売 買 損	△ 343,166,326
(C) そ の 他 費 用 等	△ 635,429
(D) 当 期 損 益 金(A + B + C)	△ 82,277,612
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	2,086,655,428
(F) 解 約 差 損 益 金	△ 339,378,715
(G) 追 加 信 託 差 損 益 金	64,072,136
(H) 合 計(D + E + F + G)	1,729,071,237
次 期 繰 越 損 益 金(H)	1,729,071,237

※有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

※追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

※解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。